

こどもとしょかん 2月あかべえ展示コーナー

『節分・バレンタインデー』

◆節分

タイトル	著者名	出版社	出版年	
鬼といりまめ 2月 節分のはなし	谷 真介/文 赤坂 三好/絵	佼成出版社	1991	MU/E/オ
「ふくはうち おにはそと」という掛け声でいり豆をまく、その由来となった民話の絵本。 日照り続きで困っていた母親は「雨を降らせてくれたら、一人娘を嫁にやってもいい」とつぶやきました。すると鬼がやってきて雨を降らせてくれたのです。娘のふくは、鬼の嫁となりました。				
おにはそと	せな けいこ/作 絵	金の星社	2010	E/セ
子どもたちに豆をぶつけられ逃げ帰った鬼たち。ところが小さい鬼の「ちび」は残って、子どもたちと仲良く遊んでいました。「ちび」が捕まったと思ひ込んだ鬼たちは、武器とよらいを作り「ちび」を取り返しに行くのですが…。				
せつぶんだ まめまきだ	桜井 信夫/作 赤坂 三好/絵	教育画劇	2000	E/セ
まめをまく、イワシの頭を飾るなど、節分に行うあれこれの理由が物語に組み込まれ、子ども向けにわかりやすく描かれています。「節分って何？」の疑問を解決する絵本です。				
まめのかぞえうた	西内 ミナミ/作 和歌山 静子/絵	鈴木出版	2004	E/マ
ひとつ、ふた一つ…と数えていくうちに豆が成長していくかぞえうた。節分の豆についても知ることができる、年の数だけお豆を食べたら読みたい絵本です。				

◆バレンタインデー

ひみつのたからチョコレート	平山 暉彦/作	福音館書店	2012	E/ヒ
絵本の形ですが、中は漫画です。 発明家のおじいさんと一緒にタイムスリップしたしょうたは400年前のメキシコへ。そのころのチョコレートは身分の高い人しか飲めない秘密の飲み物だったのです。チョコレートの歴史を探る、冒険物語。				
くまふうふのバレンタイン	イヴ バンチング/ぶん ジャン プレッド/え	新世研	2000	E/ク
冬眠の最中だけど、バレンタインのお祝いをすることにした、くまの夫婦ベティーとポビー。大きな音を立てて目覚ましが鳴り、バレンタインデー当日です。ベティーはポビーに内緒でお祝いの計画をたくさん立てていました。				
かいけつゾロリ なぞのスパイとチョコレート	原 ゆたか/さく え	ポプラ社	2012	F/ハ
女の人をたすけたゾロリ。その女の人にはローズという名のスパイ。悪の組織からマイクロフィルムを盗み追われていたのです。そうは知らないゾロリは、ローズからバレンタインのチョコレートをもらって喜んでいたので…。				
とっておきの日のスイーツ バレンタインデー&バースデー	大森 いく子/著	金の星社	2011	596/オ
フルーツチョコ、生チョコ、ハート形のチョコクッキーなどのスイーツの作り方や、おしゃれなラッピングのやり方など。手作りのプレゼントしてみませんか。 「おしゃれでおいしい季節の手作りスイーツ」の一冊。				